

# 日本山岳救助機構 (jRO:ジロー) 会員の皆様

## 2020年度事後分担金のご通知とご報告 および 2019年事後分担金の精算についてのお知らせ

### ① 2020年度事後分担金のご通知 **300円**

- 会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
  - ・事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補填金及び臨時費用補填金(以下補てん金と略)の総額を会員総数で除したものです。
  - ・2020年度の計算期間は2020年1月1日～12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に、1会員あたり300円の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
  - ・団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日(管理期間)が2020年1月1日～12月31日の場合に、2020年の事後分担金のお支払いをお願いいたします(現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2020年に属していない場合でも、本会員開始日が2020年の場合には、2020年の事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします)。
  - ・事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
  - ・計算方法についてはP2～3をご参照ください。

### ② 2019年補てん金額の確定による相殺(割引)額 ▲ **100円**

- 対象となるのは2020年のjRO会員、かつ2019年事後分担金をお支払済みの会員の方です。(退会者等を除きます。下記※注をご参照ください。)

- ・2019年度の事後分担金は300円と算出しましたが、2020年10月9日現在補てん金総額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2019年度補てん金総額を上回ったため、2019年事後分担金お支払い済の方は▲100円を相殺(割引)させていただきます。

※注:2020年にjRO会員で、かつ2019年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行うことができません。ご了承をお願いします。

- ・すでに退会済、または2020年はjRO会員でない方  
2020年度事後分担金のご案内および2021年度への更新のご案内が送れない場合等
- ・2019年の本会員(団体、家族会員の本会員)がすでに退会している方  
2019年は個人会員で2020年更新時に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
- ・2019年と2020年では、本会員が異なる方  
所属の団体を変更した場合、個人会員を退会后、家族会員として再入会等
- 各会員に関しての金額の詳細は2020年度から2021年度への更新のご案内をご参照ください。
- 2019年事後分担金の確定額計算については別紙2019年補てん金お支払い実績表(確定)をご参照ください。

2020年のjRO会員、かつ2019年事後分担金をお支払済みの方の2020年事後分担金は、  
**1会員あたり200円**(300円-100円=200円)となります。

この件のお問い合わせはjRO事務センターへお願いいたします。

# 2020年補てん金お支払い実績表(★未請求含む)

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	山梨県 高川山	※ <b>単独</b> 下山中に女坂と男坂合流地点付近で転倒。左足首脱臼骨折。入院42日。	入院	¥6,550
1	北アルプス 白馬五竜スキー場 八方沢合出付近	降雪後のため帰路の圧雪状況が不明で下山時間の目処がたたなかったため救助要請。その後、ビバークポイントを探しながら下山していたところスノーモービルの走行跡を発見し自力下山した。救助隊は編成されていたため費用発生。	特になし	¥40,000★
1	丸沼高原	※ <b>単独</b> スノーボード滑走中転倒し、脱臼。自力走行不可となりスノーモービルにより救助された。	負傷	¥10,000
1	北アルプス 涸沢岳西尾根	※ <b>単独</b> 奥穂高岳下山途中、涸沢岳西尾根 2900m地点で本人より警察へ「道に迷い、ビバークする」と連絡があった。翌日は悪天候のためヘリは出動不可、捜索隊が出動するが発見に至らず。翌日ヘリ出動したが発見されず地上からの救助隊がテントを発見。さらに翌日ヘリでザックを発見、また上方に本人を確認。最寄り警察署へ収容されたが死亡が確認された。	死亡	¥335,605
2	北アルプス 乗鞍岳	スノーボード滑走中に雪崩に巻き込まれる。消防ヘリにより救助されたが搬送先の病院にて死亡が確認された。	死亡	¥338,872
2	森吉山 阿仁スキー場	※ <b>単独</b> スキー滑走中に転倒、左上腕骨折。スキー場パトロールにより救助。	入院	¥20,000
2	山形県 西吾妻山	猛吹雪による視界不良と日没にかかるため当日下山をあきらめて西吾妻小屋に避難する。ビバーク2泊。3名パーティ共同遭難、うち2名jRO会員。	特になし 特になし	¥123,366 ¥123,366
2	北アルプス 白馬 八方尾根	滑走中に転倒、その際左脛骨高原骨折。同行ガイド2名により応急処置後、自力下山を試みたが受傷箇所の激痛、けいれん、めまいがひどくなり救助要請。入院31日。	入院	¥51,076
2	八ヶ岳 赤岳	堰堤広場付近で足が滑った際にバランスをくずし1.5Mほど落下。自力歩行が困難となり救助要請。頭部切創。仙骨骨折。	負傷	¥25,360
3	利尻山	ツアー中の事故 沓形コース近く沢上部の斜面で転倒し左肩を強打。骨折。ガイドに付き添われ下山。	負傷	¥6,520
3	鳥取県 大山	北壁弥山尾根東稜を登はん後、西稜を下降中、パーティー1名が滑落。それを追いかけた本人も300Mほど滑落した。入院あり。骨折や靭帯損傷など全治2ヶ月。	入院	¥20,830
3	北アルプス 乗鞍岳	※ <b>単独</b> 山スキーで下山中道迷い。1泊ビバークあり。救助隊付き添いで下山したが、途中で動けなくなりスノーモービルで搬送。低体温症で1日入院。	入院	¥298,608
3	八ヶ岳 赤岳	※ <b>単独</b> 山頂付近にて滑落。赤岳鉱泉まで自力下山するが行動不能となり救助要請。他保険制度と重複のため按分。	入院	¥75,007
3	北アルプス 唐松岳	2人パーティー下山途中、悪天候のためツエルト設置、ビバーク。夕方暴風により飛ばされ落下。翌日早朝救助要請。2日後に発見。	死亡	¥893,560
3	須磨アルプス 横尾山・楯尾山	斜面で転倒し負傷。9針縫うケガ。同行者により救助要請、消防ヘリにより救助された。	負傷	¥10,000★
3	丹沢 女郎小屋沢	下山中に滑落、同行者により救助要請されたが死亡が確認された。	死亡	¥73,480
3	北アルプス 鹿島槍ヶ岳 東尾根	下山中、第一岩峰付近で懸垂下降しようとしたところ、支点が抜け100Mほど滑落。付近パーティの協力で50Mほど登り返すが足を負傷しており行動不能となり17時頃救助要請。その日はヘリが飛ばず、次の日も天候不良でヘリが引き返す。翌日地上からの救助隊と合流しヘリにてピックアップ。岩峰基部にてビバーク2泊。	負傷	¥403,510
4	八ヶ岳 中岳	※ <b>単独</b> 単身赴任先の職場より自宅へ所在の問い合わせが入る。単身赴任先の自宅にも車がなかったため家族や関係者は山に行っていると確信したが証拠がないため警察へ「失踪届」を提出。車の所在を捜索する。ETCの履歴、営業中の山小屋から八ヶ岳と判断、駐車場に車を確認。この時点で所轄へ「捜索願」を提出。事故発生(推定)2日後県警ヘリにて救助されたが死亡が確認された。登山中に滑落した際に頭部を強く打ったと考えられる。	死亡	¥275,750
6	山梨県 櫛形山	下山中に木の根につまずき転倒。その際、右足首を骨折。入院・手術あり。	入院	¥23,240

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
6	山形県 西吾妻山	登山道をふさぐ形で倒木があり、回避しようとしたところ地盤が崩れ2Mほど落下。顔面や胸を強打。事故時の記憶なく脳しんとうのような状態になる。同行者により救助要請。西吾妻小屋にてピバーク。翌日消防ヘリにて最寄医療機関へ収容される。	負傷	¥53,937
7	群馬県 四万川	渡渉中に流される。事故発生2日後に下流にて発見された。	死亡	¥282,880
7	北アルプス 白馬岳	岩室付近にて体力が尽き行動不能となる。同行者により救助要請、救助隊と合流し下山。	特になし	¥192,220
7	六甲山	足を洗いに行った同行女性が滝つぼにはまり、救助しようとしたところ溺れる。約1時間半後に発見されたが死亡が確認された。	死亡	¥400,000★
8	安達太良山	下山中に滑落、その際左肩骨折。消防の付き添いにより下山。	入院	¥60,000★
8	北アルプス 槍ヶ岳	※ <b>単独</b> 下山中、大曲上部にて転倒、その際右足首骨折。遭対協により救助活動が行われた。	入院	¥150,000★
8	秩父 入川溪谷	溪流釣りの下山中に100メートルほど滑落。救助隊により発見されたが死亡が確認された。	死亡	¥400,000★
8	長野県 松沢山	登山道が不明瞭だったため分岐を誤り道迷い。警察・消防等が捜索したが発見にはいたらず、夕方に自力下山。謝礼費用発生。	特になし	¥29,478
8	北アルプス 西穂高岳	※ <b>単独</b> 赤岩岳、間ノ岳付近でつかんだ岩が落ちてきて巻き込まれ滑落。右鎖骨骨折、広範囲にわたり外傷。	入院	¥4,850
8	奥秩父 甲武信ヶ岳	山小屋内ではしご状の階段を降りる際に滑って転落。その際左手首骨折、顔面、頭部も打撲。防災ヘリにて基地まで搬送、待機していた救急車にて医療機関まで搬送される。	負傷	¥55,000
8	北アルプス 常念岳	※ <b>単独</b> 登山中に雷が出てきたため登頂をあきらめ下山中にすべって転倒。その際左頭部、左肩、胸などを強く打つ。常念小屋まで自力下山したが、行動不能となったため救助要請。左肋骨骨折、左鎖骨骨折、血気胸、頭部挫創。1週間入院。	入院	¥83,087
8	つくば市 宝篋山	※ <b>単独</b> 登山中に突然倒れる。付近登山者により救助要請、最寄り医療機関へ収容されたが死亡が確認された。虚血性心疾患の疑い。	死亡	¥4,320

<b>総額 (10/10 現在) 【支払済+★未請求 (見込) 額】</b>		<b>A</b>	¥4,870,472
<b>推計値 (10/10 現在未報告案件及び以降発生案件に対応するため 下記参照)</b>		<b>B</b>	¥22,000,000
<b>2020 事後分担金算出の基礎数字 (事後分担金計算式の分子) A+B</b>		<b>C</b>	¥26,870,472
<b>2020 会員総数 (決済エラー無し会員総数)</b>		<b>D</b>	94,591 名
<b>2020 事後分担金 C÷D= ¥284 (端数切り上げ)</b>		<b>E</b>	<b>¥300</b>

#### ◎推計値 (B欄 ¥22,000,000円) の算出について

- 一般的に12月には遭難が他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても例えば2019年は4件、2018年は5件、2017年は2件、2016年は4件のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています。2012年の場合は、長期にわたる捜索活動を必要とする事案が発生しました。また、jRO会員数は2009年末を例とすると会員数約1万名に比べて、本年度は9.4倍の会員数(約9.4万名)となり、事故件数はそのまま9.4倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- 遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多く、また10月までの未報告案件のあることも加え、2020年10月現在のコロナ禍の特殊な状況も考慮する必要があります。
- B欄 2,200万円という推計値は前記のような過去の経験値を勘案し算出したしました。
- 2020年の補てん金額の確定は2021年10月中旬を予定しております。
- 算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- 別紙に2019年度補てん金お支払い実績表(確定)を掲げました。



# 2019年補てん金お支払い実績表(確定)

●2020年事後分担金の精算(相殺処理)金額: ▲100円

●2020年10月現在、昨年度補てん金お支払対象案件は下表以外の発生は想定できません。よって以下を2019年補てん金(カバレッジ金額)総額といたしました。

★未請求案件 (独) 単独での事故

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	谷川岳 天神尾根	天神尾根をスキーで滑走中雪崩に巻き込まれる。悪天候のため捜索活動が出来ず発生2日後に発見される。窒息死。	死亡	¥349,930
1	志賀高原 焼額山	4名パーティで滑走中、うち一人がツリーホールに落下。他メンバーは気づかず滑走。遭難者から他メンバーへ無線にて救助要請。焼額山スキー場に救助要請、捜索・救助活動を行った。	特になし	¥115,000
2	北ア 白馬乗鞍岳	東斜面を山スキーで登山中に2,400M付近にて雪崩に遭遇し完全埋没。付近登山者により救助要請。大腿骨骨折、肺挫傷。	入院	¥302,578
2	白山	パーティとはぐれてしまい道迷い。スキーが壊れる等のトラブルや雪庇や雪崩に巻き込まれる。本人から携帯電話にて救助要請、2泊ビバーク後に発見され救助される。GPS情報のやりとりあり。謝礼費用発生。	特になし	¥2,700
(独) 2	中ア 木曾駒ヶ岳	乗越浄土付近で50Mほど滑落。その際右足首骨折。付近の登山者により救助要請、民間救助隊により救助活動が行われた。	入院	¥462,394
2	苗場山 神楽ヶ峰	反射板ルートで滑走予定だったが視界不良のため棒沢付近へ滑走してしまい道迷い。ビバーク2泊あり。同じ山小屋に宿泊予定だった友人より救助要請。	負傷	¥199,946
(独) 2	上州武尊山	単独のため詳細不明。天候不良のため道迷いしたと思われる。警察や民間ヘリ等による捜索が行われたが発見に至らず。事故発生約3週間後、バックカントリースキーヤーにより発見される。	死亡	¥1,757,920
2	北ア 乗鞍岳	位ヶ原山荘から下山中に転倒、骨折。ソリとスノーモービルでのけん引、救急車を乗り継ぎ最寄り医療機関へ収容。	負傷	¥309,658
2	八ヶ岳 赤岳	登山中に脳こうそくで倒れる。同行者による救助要請。最寄り医療機関までヘリにて搬送。	入院	¥138,980
(独) 2	富士山 七合目	下山中に滑落。詳細不明。死因は頭部外傷により意識消失し凍死。	死亡	¥195,109
(独) 3	尾瀬 燧ヶ岳	山スキー中に山頂付近にて雪崩に巻き込まれる。窒息死。	死亡	¥111,800
3	八ヶ岳 天狗岳	下山中に西天狗直下で滑落。左足骨折、靭帯損傷。黒百合ヒュッテスタッフの協力により、長野県警のヘリにて搬送。	入院	¥99,660
3	北海道 利尻山	低体温症のため行動不能となる。2名共同遭難、1名ビバーク2泊。1名ビバーク1泊。	入院 入院	¥438,125 ¥166,190
(独) 4	埼玉県飯能市 日和田山 男岩	単独のため詳細不明、クライミング中に滑落し死亡したと思われる。家族より戻らないと通報があり、翌日に警察により発見、死亡が確認された。	死亡	¥34,598
(独) 4	北ア 唐松岳 八方尾根	付近登山者より滑落の通報があった。翌日、稜線付近で死亡しているのが発見された。死因は低体温症。	死亡	¥441,280
(独) 5	富士山	九合目付近から滑走中転倒、滑落し多発外傷のため死亡。	死亡	¥780,568
5	三つ峠	屏風岩中央カンテ4P目を登はん中、ルート取りに迷い戻る途中で足をすべらせて落下。その際、左足首2ヶ所骨折。	負傷	¥16,912
(独) 5	雨飾山	下山中、残雪に足が滑って30M程滑落、その際、肋骨数本の骨折と左目を切った。自力下山を試みたが17時を過ぎ行動不能となり警察へ救助要請。翌日、警察と民間救助隊により発見された。GPS情報のやり取りあり。	入院	¥68,416
(独) 7	大峰山 奥駈道	四寸岩山の頂上から誤って高原山方向へ入る。引き返したが日没のため途中でビバーク。翌日四寸岩山付近で捜索隊と合流し付添自力下山。	特になし	¥480,125
7	奥多摩 丹波川 小室川谷	小室川谷出合より入渓。4人で遡行中に約4.7km地点のS字峡付近にて、へつり中に流される。救出して蘇生を試みるが、呼吸なしの状態だった。事故発生4日後に警察により収容される。	死亡	¥157,370
(独) 7	北海道 トムラウシ山	下山中に倒れ、付近の登山者が警察に救助要請を行った。警察による救助後、搬送先の病院で亡くなった。医師による診断は急性心筋梗塞。	死亡	¥489,089
7	新潟県 金城山	下山中に熱中症にかかり意識を失う。消防により人力搬送後、ヘリにて病院へ搬送される。入院8日。	入院	¥10,800
7	南ア 赤石岳	下山中に足を滑らせ谷方向へ滑落した。同行者により救助要請。事故発生2時間後にヘリにより最寄り医療機関へ収容される。	入院	¥61,772
7	八ヶ岳 北横岳	高山病になり行動不能となる。同行者により付近山小屋へ救助要請。	診療	¥35,720
(独) 7	秋田駒ヶ岳	下山中に滑落し右足首骨折。付近登山者により救助要請、消防により人力担架、救急車にて病院へ収容される。	入院	¥55,544
8	奥秩父 金山沢	滝を登はん中、滑落し滝つぼに落下、溺れる。呼吸をしていなかったため同パーティにて心肺蘇生を実施、しばらくすると自力呼吸始まった。1人は救助要請のため下山、1人は付き添いビバーク準備に入る。その日の夜に警察、消防と合流し夜通し付き添い下山。	入院	¥6,480
8	北ア 燕岳	燕山荘から5分くらい手前で登山道のくぼみに右足をとられ転倒。その際右足首骨折。圏外だったため燕山荘の電話を借りて救助要請、県警ヘリにて最寄医療機関へ収容。	負傷	¥85,208
(独) 8	山形県 船形山	沢沿いコースから尾根に上がる際にルートを見失い藪尾根を登ったが、岩峰上で身動きがとれなくなる。ビバーク1泊あり。翌日消防ヘリにて救助される。	特になし	¥271,979
(独) 8	飯豊連峰	御西岳へ烏帽子岳を歩行中、登山道を踏み外し1mほど滑落。その際に左足首を負傷。	入院	¥246,042
8	北ア 白馬鍾ヶ岳	鍾ヶ岳を経て鍾温泉へ下山中にスリップして転倒、右足首骨折。入院49日。	入院	¥76,000
8	奥秩父 釜ノ沢	ホラ貝のゴルジュ遡行後、同沢を下降中に釜の中でおぼれた。事故発生翌日に滝つぼの中で発見された。	死亡	¥377,146
(独) 8	万太郎山 井戸小屋沢左俣	山頂直下にて滑落、ビバーク1泊あり。謝礼費用発生。	入院	¥19,351
8	北ア 槍ヶ岳	小槍の取り付けに向かう途中、足を滑らせ1mほど下の地面にジャンプした際に右ふくらはぎ肉離れをおこし歩行不能となる。槍ヶ岳山荘経由で警察へ救助要請、県警ヘリにて医療機関へ収容される。	負傷	¥86,428
(独) 8	白山	中宮道を登山中に右足を滑らせ転倒、その際に左足を骨折し行動不能になった。ビバーク5泊。	入院	¥191,198
(独) 9	鳳凰三山	中道ルートで入山、賽の河原を下る途中、道を誤り地蔵岳の裏へ進んでしまう。北沢下流の「九段の滝」上部で下降不能となった。ビバーク5泊。	入院	¥109,720
9	日光白根山	登山中に左足着地の際にひねり骨折。ガスが濃い為ヘリが飛ばず同パーティにて人力搬送、その後消防に引き継がれ人力搬送、医療機関へ搬送される。入院40日。	入院	¥21,880
9	南ア 薬師岳 シレイ沢	2060m付近の滝を高巻き中に20m程滑落。翌日、山梨県警ヘリにてピックアップ。骨折や靭帯損傷し105日入院。	入院	¥14,998
9	奈良県 百合ヶ岳 (大所山)	友人と9:30ごろ入山。沢沿いのため登山道ではないと判断し尾根へ登り始めたが標識リボン少なくインターネット繋がらず。14:00 GPSと地図コンパスで現在地を確認、下山開始。往路のルートに戻り、日暮れが迫っているため声をかけあって下山していたがはぐれてしまいビバーク。同行者は別ルートで下山。	特になし	¥336,000
10	鳳凰三山	青木鉱泉からドンドコ沢コースで地蔵岳、観音岳へ行く予定が高嶺に行ってしまった。その後、アカメヶ沢の頭付近で行ったり来たりを繰り返す。鳳凰小屋の位置の認識を誤っていた為、道標を見てもどちらに行けば良いか分からなくなり、16:30頃、鳳凰小屋に救助を依頼。救助に来た山小屋の従業員に付き添われ小屋へたどり着いた。	特になし	¥6,000

裏面もごさいます。ご参照ください。

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
10	北ア 剣岳	剣岳山頂より平蔵のCOL方面へ下山、真砂沢ロッジ未着。数次にわたり捜索が行われている。現在(2020年10月)も継続中。	不明	¥5,500,000
10	北ア 黒部溪谷 下ノ廊下	東谷つり橋付近で登山道から60mほど滑落。防災ヘリにより病院へ収容されたが死亡が確認された。	死亡	¥254,768
10	北ア 奥穂高岳	ザイテングラート下山中に足をすべらせ転倒。救助隊が付き添い自力歩行。	負傷	¥43,852
10	八ヶ岳 天狗岳	下山中に転倒、後ろ向きに1mほど滑落し頭部打撲、出血、道にも迷う。付近登山者が付添下山。唐沢鉱泉から電話し救急車で病院へ搬送。	負傷	¥3,680
11	鈴鹿 羽鳥峰	登山中に岩からスリップし脳挫傷。駆けつけ費用発生。入院21日間。	入院	¥44,500
11	静岡/山梨県 毛無山	登山中に致死性不整脈の疑い。最寄り医療機関に収容され死亡が確認された。	死亡	¥300,000
12	北ア 西穂高岳	独標からピラミッドピークの間で100mほど滑落。同行者により救助要請、最寄り病院へ搬送されたが死亡が確認された。	死亡	¥407,350
12	八甲田山 田茂沼岳	下山中に道迷いになり下山が遅れ、山中でツエルトビパーク。警察へ救助要請を行い、翌朝9:30頃発見される。民間救助隊 捜索費用130,000円の請求のうち各1名分。	診療 診療	¥65,000 ¥65,000
12	北ア 西穂高岳	下山中に悪天候により道迷い。本人より小屋に救助要請の連絡。小屋から警察へ救助要請。3日後に発見、死亡が確認された。	死亡	¥557,800

2019年度補てん金額合計

¥16,372,564<sup>\*\*1</sup>

2019年度事後分担金確定額および精算額について

2019年事後分担金の確定額は、上記実績表通りの補てん金お支払い状況と会員の方からの事後分担金お支払い状況により、お一人当たり200円とさせていただきます。これに対し2019年以前にご入会の会員の方は既に300円の事後分担金をお支払いいただいております。このため100円を返金させていただきますが、2020年度事後分担金としてお支払いいただく際に相殺処理させていただきます。ご了承をお願いいたします。相殺後の金額は2020年度事後分担金額をご参照ください。

2019年度事後分担金支払い状況	口座請求額	振替不能額	お支払い額
1月1日~9月30日口座請求実績	¥27,321,300	¥1,912,500	¥25,408,800 <sup>**2</sup>
10月1日以降請求予定金額 (口座振替・クレジット・その他含む)	¥1,972,200	¥197,220 <sup>**3</sup>	¥1,774,980
合計	¥29,293,500	¥2,109,720	¥27,183,780
2019年度補てん金額：A	¥16,372,564 <sup>**4</sup>		
超過額	¥10,811,216 <sup>**5</sup>		
事後分担金お支払済み人数：B	90,613 <sup>**6</sup>		
2019年度事後分担金確定額：A/B	¥200 <sup>**7</sup>		

<sup>\*\*1</sup> お支払補てん金総額  
<sup>\*\*2</sup> 郵便振替支払い含む  
<sup>\*\*3</sup> 過去実績より約10%と推定  
<sup>\*\*4</sup> 未請求事故1件(★)を含む。<sup>\*\*1</sup>と同じ  
<sup>\*\*5</sup> ¥27,183,780 - ¥16,372,564  
<sup>\*\*6</sup> 10月末日までの支払い済 会員数および11月以降予定人数  
<sup>\*\*7</sup> ¥180.69円を切り上げ

〇〇〇〇〇 **jRO** キャラクター犬・コジローのつぶやき 〇〇〇〇〇

jROのキャラクターはアルプスの救助犬「コジロー」です。コジローはつぶやきます。いずれも補てん金お支払い事例から学んだ言葉です。



**自自力 (じきゅうりょく) をアップ**

万一山岳遭難に遭遇した時、まず遭難者の安全を確保し、応急手当てを施すのは同行者・または自分自身です。折に触れ、山岳雑誌や山岳書で学び、救急法講習会などで自らを救う知識とスキルをアップさせましょう。

**山岳遭難のレッドカーペットを踏まないで!!**

遭難事例で“単独”が多いことが目立ちます。ソロで、登山口に立ったら山岳遭難のレッドカーペットの端に立っています。もし、途中で道迷いに気が付いたら、カーペットの真ん中まで進んでいます。すぐに現在地が確認できる場所まで戻りましょう。カーペットの末端まで行ってはいけません。



**Missing 0 triangle (ミッシングゼロトライアングル)**

山岳遭難対策制度の加入

- 道迷いによる”行方不明“は絶対避けたい山岳遭難です。行方不明防止のために、
- 1、登山届の提出 (Compass、jRO スマホアプリなど。家族にコピーを) の励行
  - 2、位置通報機器 (スマホアプリ、ココヘリなど) の持参
  - 3、山岳遭難対策制度や山岳保険の加入
- の3点セット (トライアングル) をお忘れなく。



登山者位置  
情報機器の装備

**エマゲ (=エマージェンシーグッズ) の必携**

どんな山でもザックに雨具・防寒着・ヘッドランプ必携です。さらにこれに加えての、ツエルト、非常食、三角巾、ライター、新しいペットボトルの水 (200cc) も必携です。

少しザックが重くなりますが、大きくて重たい遭難に備えましょう。

安全で楽しい山行をお祈りいたします。

日本山岳救助機構 (jRO: ジロー)  
キャラクター犬・コジロー

